

雲仙市

担 当	○総務部 政策企画課 政策企画班 岸川 奈桜里
	○観光商工部 観光物産課 観光戦略推進班 宮原 祐二
電 話	0957-38-3111
F A X	0957-38-3514

「地域活性化起業人制度による人材派遣に関する協定」及び 「観光振興等に関する協定」の締結について（ご報告）

この度、本市と株式会社シーエーシーにおいて、本年7月5日付で「地域活性化起業人制度による人材派遣に関する協定」及び「観光振興等に関する協定」を締結いたしましたので、下記のとおりご報告いたします。

なお、本協定の締結発表に当たっては、新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念しつつ、締結発表会を開催するよう進めておりましたが、株式会社シーエーシーの本社が所在する東京都において、7月12日に緊急事態措置が実施されたことから、感染防止の観点から締結発表会を執り行わず、今回の報告とさせていただくことをご了承願います。

記

1. 協定の概要について

①地域活性化起業人制度による人材派遣に関する協定

1) 締結期間 令和3年7月5日～令和4年3月31日

※ 協議により期間を変更することができます。

2) 協定の目的など

本市の市民サービスの向上を目的としてデジタル化の推進等を図るため、「地域活性化起業人制度」(※)を活用し、専門的知見を有する株式会社シーエーシー社員の派遣を受け、以下に対し提言等を頂くこととしております。

- ・市各部局との協議を踏まえ、デジタル化についての提言
- ・市民皆様が生活・活動しやすい環境を整えるデジタル化の提言

なお、この提言等については、本年度に策定予定である第二次雲仙市総合計画：後期基本計画への反映を検討するとともに、実現可能なシステム・アプリの開発については、速やかに対応を図ることとしております。

また、今月は既に雲仙市で「ものづくり」「ことおこし」に取り組む人をつなぎ、市内外へ発信する活動である「雲仙人（くもせんじん）プロジェクト（事務局：政策企画課）」の会議にも参加しており、今後は、プロジェクトの取り組みの中で、参加者のデジタルに関する困りごとの相談対応や、情報発信の方法の提案も行っていただくこととしております。

※「地域活性化起業人制度」について

本制度は、三大都市圏に所在する企業等の社員が、そのノウハウや知見を活かし、一定期間、地方自治体において地域独自の魅力や価値の向上などにつながるような業務に従事する制度。（所管：総務省）

3) 派遣社員

株式会社シーエーシー ビジネス統括本部
産業ビジネスユニット 産業ソリューション第一部 第一グループ
中村星斗様

4) 勤務条件など

月（雲仙市の休日を定める条例（平成17年雲仙市条例第2号）に定める市の休日を除く）の半分以上、雲仙市の業務に従事していただきます。

5) 勤務地

雲仙市役所 総務部 政策企画課

②観光振興等に関する協定

1) 締結期間 令和3年7月5日から1年間

※ 双方から申し出がない場合は、1年間更新（その後も同様）。

2) 協定の目的など

本市の観光振興等を通じた相互協力による地域活性化及び人材育成を図ることを目的として、以下について連携いたします。

○観光・ワーケーションの推進、協働

例) 雲仙市の観光・ワーケーションにかかる情報提供、シーエーシー社員の雲仙市での滞在型観光、ワーケーション活用の推進を検討

○オープンイノベーションの推進、協働

例) 地域課題の掘り起こし、解決、地域活性化などの地方創生と事業者のソリューション・ビジネスの創出

○雲仙観光局（仮称）の設立及び推進、協働

○その他、地方創生の推進、協働

2. 協定締結の相手方

株式会社シーエーシー 代表取締役社長 西森良太様

《会社概要》

所在地：東京都中央区日本橋箱崎町24番1号

代表者：代表取締役社長 西森良太

資本金：4億円（東証一部上場 株式会社CAC Holdingsの100%子会社）

事業内容：システム構築サービス、システム運用管理サービス、業務受託サービス

コーポレートサイト：<https://www.cac.co.jp/>

3. 今回の協定締結に伴うコメント

別紙のとおり

【別紙：株式会社シーエーシー西森社長のコメント】

このたびの協定締結を大変光栄に思います。

当社は、2019年7月に長崎市に拠点を開設し、国内の企業向けに人事業務のBPOサービスとITサービスを提供しています。こうした事業を長崎で進める中で、当社は地域課題への理解を深め、ITで地域課題を解決して地方創生に貢献できるのではないかと、また、そこで得た知見を新規事業に活かせるのではないかと考えるに至りました。その考えのもと、現在、長崎県内の様々な自治体、教育・研究機関、事業者などとの連携を図っているところです。

今回の協定締結は、そうした取り組みの一環に位置付けられます。

雲仙市とは長崎への進出に伴ってご縁が繋がり、今後の可能性を探るべく2020年に視察を開始、そして本年4月には10名以上の社員が訪問してワーケーションを疑似体験しつつ、宿泊施設や農家など多岐にわたる事業者様と情報交換を行いました。これらを通して、雲仙市との連携の意義を強く感じ、協定を結ぶ運びとなりました。

今回の2つの協定を起点として、雲仙市との関係をさらに密接にし、地域社会の活性化と発展に当社のデジタル技術で貢献できればと考えています。

令和3年7月27日

株式会社シーエーシー 代表取締役社長 西森良太

【別紙：雲仙市長のコメント】

このたび、株式会社シーエーシー様と「シーエーシーとの地域活性化起業人制度による人材派遣に関する協定」及び「観光振興等に関する協定」について、協定を締結し、人材を派遣していただくとともに、本市における市民サービスの向上を目的としたデジタル化の推進や観光振興等にご協力をいただけることは、本市にとって大変ありがたいことであり、心から感謝を申し上げます。

株式会社シーエーシー様は、「世界をフィールドに先進の ICT をもって新しい価値を創造する」を企業理念とし、企業の情報化戦略・計画に関するコンサルティングからシステムの設計・構築・導入・運用管理・保守まで、情報システムに関する一貫したサービスを提供しておられ、また、長崎県内にも事業拠点を開設されるなど長崎県とも繋がり深い企業であります。

現在、国においては少子高齢化や過疎化といった課題を克服するため、Society5.0の実現などが目指されております。本市においても ICT を活用した市民サービスの提供や行政運営の取り組みを進めておりますが、今回の人材派遣においては、市各部局との協議を踏まえたデジタル化についての提言や市民皆様が生活・活動しやすい環境を整えるデジタル化の提言をいただく予定としており、本市の取り組みを飛躍させるものと大いに期待をしております。

今後とも、株式会社シーエーシー様としっかり連携を図りながら、本市の市民サービス向上や地域経済の活性化等に取り組んでまいります。

令和3年7月27日

雲仙市長 金澤 秀三郎